

令和6年度

伊勢崎市立坂東小学校



学校通信

ばんどうたろう

坂東太郎



第 2号

令和6年4月9日(火)発行

校長 関根 崇史

【坂東小学校に着任して】

4月1日に群馬県教育委員会から辞令を受け、午後の職員会議が坂東小学校での勤務スタートとなりました。どの教職員からも新年度に対する熱意が伝わってきて、素晴らしい学校に来ることができたという喜びとともに、自分もしっかりやらなければというプレッシャーも感じました。翌日から教職員は、声をかけるのも悪いかと思えるほどの真剣さで、朝早くから夜遅くまで様々な準備を進めてくれました。仕事なんだから当たり前、と思う方もいるかもしれませんが、子供たちと向き合うためには膨大な準備とエネルギーが必要なのです。保護者や地域の方にも、教職員のそういった見えない努力を知ってもらえたらとも考えています。子供たちの様子等を中心に学校通信は発行していきますが、時々教職員の頑張りも紹介していきます。そういった部分もぜひ知っていただき、温かい支援やご協力をお願いいたします。



〈1年生教室準備の様子〉

4月5日には、新6年生が登校して、新学年の机・椅子の移動、校内清掃、1年生の教室の飾りつけや入学式場準備などに取り組んでくれました。どの子供たちも自分から進んで働いていて、頼もしさと清々しさを感じました。また、元気にあいさつをしてくれたり、自分から声をかけてくれたりした子供たちがたくさんいました。

新しい学校への異動は、何回経験しても「ちゃんとやっていけるのか」という不安があります。しかし、教職員の熱意や6年生の態度が、その不安を拭い去ってくれました。「いい一年になりそうだな」そう思って新学期を迎えられたことが嬉しかったです。



〈入学式準備の様子〉

【一学期 始業式】

天候が心配されましたが、満開の桜の下、校庭で実施することができました。新年度のスタートにあたり、以下のような話をしました。

新しい学年、新学期などの「節目」は、自分を変える絶好のチャンス、目標を決めてスタートしよう。目標は小さなものでいいので、それが達成できたら、また次の目標を決めてがんばっていくようにすると、一步一步確実に成長していくことができる。

【3つのお願い】

○元気にあいさつをしよう ○思いやりを持って人と接しよう ○大切な命を守ろう

どれも当り前のことですが、子供たちはしっかりと話を聞いてくれました。子供たちにとっても、教職員にとっても、坂東小学校が「誇れる学校」であってほしいと願っています。そのためには、「爽やかなあいさつが響き渡る坂東小学校」、「いじめのない、誰もが気持ちよく生活できる坂東小学校」、「事故がなく、いつでもみんなの笑顔がそろう坂東小学校」であることが絶対条件だと考え、このような話をしました。保護者や地域の方とも、この思いを共有し、子供たちの健やかな成長を一緒に見守っていけたらと思っています。

入学式でも、新入生に全く同じことを伝えました。入学式については、また次号にてお知らせします。